

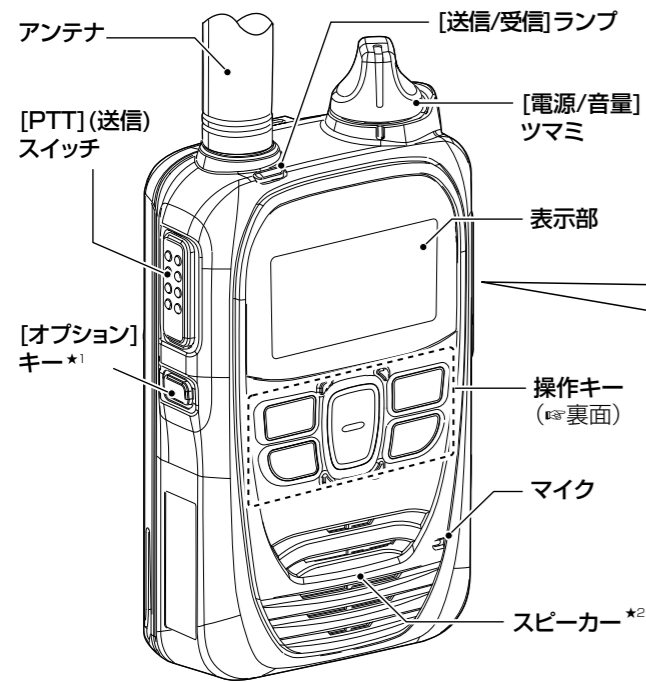
1. 必要なものを確認する

付属品について

- バッテリーパック (BP-271) 1
- ベルトクリップ (MB-135) 1
- アンテナ 1
- ハンドストラップ 1
- ご注意と保守について
- ご利用ガイド (本書)
- 保証書

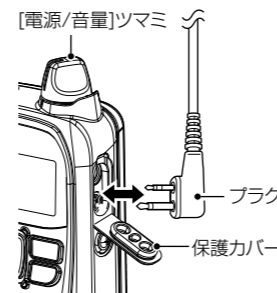
※お使いになる製品によっては、バッテリーパックが同梱されていない場合がありますが、別売品としてもご用意しています。

2. 各部の名称



別売品を接続するときは

- ◎接続ケーブルを抜き差しする前に、本製品の電源を切ってください。
- ◎プラグ本体を持ってまっすぐに抜き差ししてください。
- ◎防塵/防水対応により、差し込み部分がかたくなっていますので、プラグを接続するときは、奥まで確実に差し込んでください。
- ◎防水性能の維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、しっかりと保護カバーを閉じた状態でご使用ください。

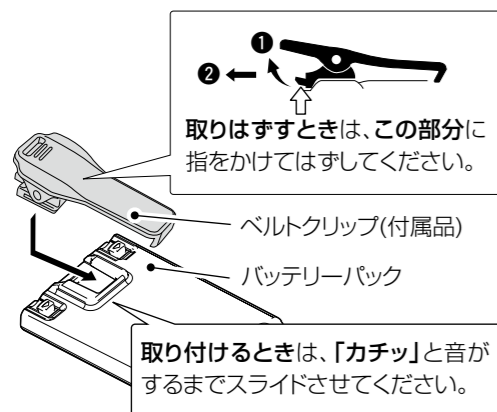


- ★1 お買い上げの販売店で機能を設定されている場合に使用できます。
- ★2 別売品のスピーカーマイクロホンなどを接続したときは、動作しません。

※本書中の画面や説明は、設定によって、お使いになるものと多少異なる場合があります。

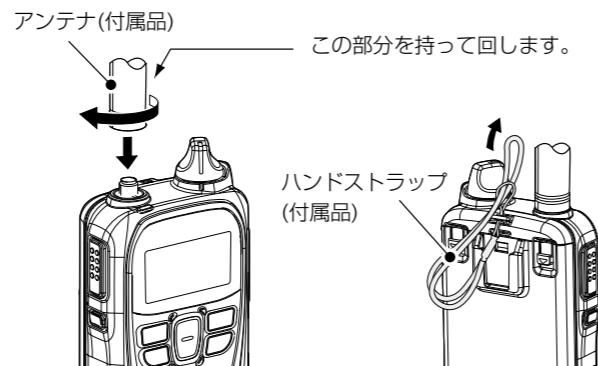
※本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

3. ベルトクリップの取り付けかた



※バッテリーパックを無線機本体から取りはずした状態で、ベルトクリップを着脱してください。

4. アンテナ/ハンドストラップの取り付けかた

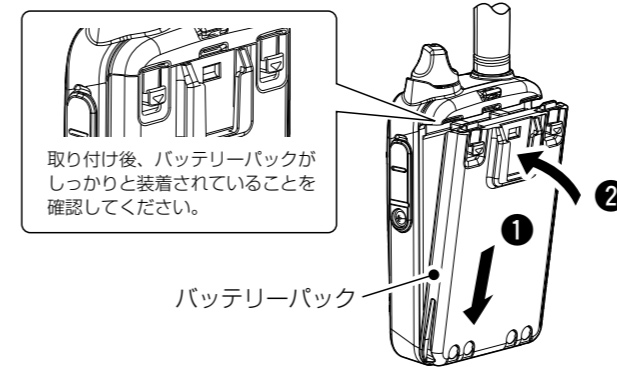


【ご注意】

技術基準適合証明 (工事設計認証) を受けていますので、付属のアンテナ以外は使用できません。

5. バッテリーパックの取り付け

図の手順(①~②)で、取り付けてください。

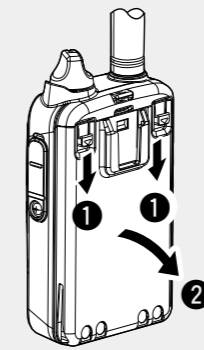


△注意

しばらく使用しないときは、バッテリーパックを無線機本体から必ず取りはずしてください。

本製品の電源を切った状態でも、常に微小の電流が流れていますので、電池が消耗する原因になることがあります。

※本製品の電源を切ってから、右図の手順(①~②)で、バッテリーパックを取りはずしてください。



7. 充電のしかた (BC-202使用時)

お買い上げいただいたときや、2ヵ月以上充電しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。

- ◎充電中は、必ず本製品の電源を切ってください。電源が入ったまま充電すると、正常に充電しないことがあります。
- ◎バッテリーパック、または無線機本体にバッテリーパックを装着した状態で、図のように充電器に差し込んでください。
- ◎充電中、充電ランプは橙色に点灯します。充電が完了すると緑色に点灯します。※橙色で点滅する場合は、弊社ホームページに掲載のIP500H取扱説明書 (PDFファイル) をご覧ください。
- ◎充電が完了したあと、バッテリーパックの電圧が低下すると自動的に再充電を開始します。※0℃~40℃以外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電器の故障ではありません。※充電後や充電しないときは、ACコンセントから電源ケーブルを抜いてください。

△危険

- ◎充電するときは、必ずIP500Hに対応した充電器 (弊社ホームページに掲載) をご使用ください。
- ◎指定 (BP-271/BP-272) 以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。
- ◎別紙の「ご注意と保守について」を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

6. 充電時間と運用時間の目安

ご使用になるバッテリーパックや充電器によって、充電時間や運用時間が異なります。

※圏外やローミングを繰り返す環境では、運用時間は短くなります。

名称 定格項目	BP-271	BP-272
運用時間	約10時間	約17時間
	送信1、受信1、待ち受け受信8の割合で繰り返し運用	約20時間
充電時間	約2時間	約3.5時間
	BC-202、またはBC-211を使用時	

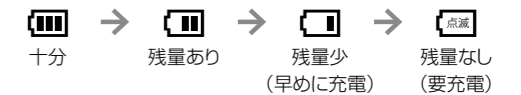
※本製品に付属しているバッテリーパックは、BP-271です。

※バッテリーパックの残量がない状態で充電した場合の時間です。

※バッテリーパックに異常があると思われるときは、使用を中止して、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

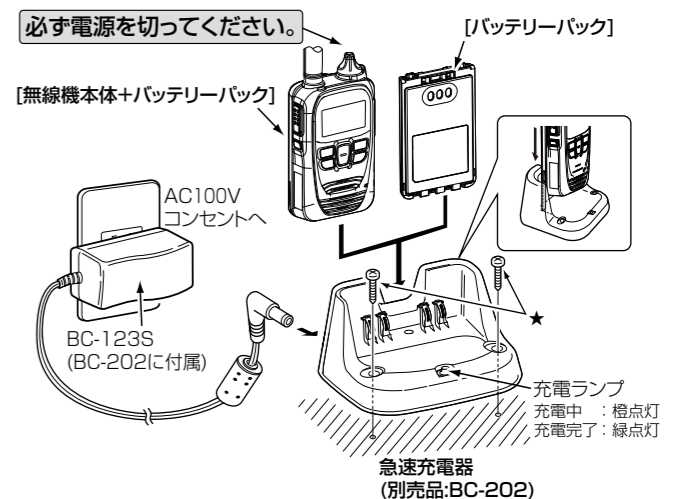
電池残量の目安について

残量が少なくなりましたら、バッテリーパックを充電してください。



※電池の残量表示が「残量少」になると、残量警告音「ピーピー」が約30秒ごとに鳴ります。警告音が鳴り出したら、本製品の電源を切り、すぐに充電してください。

※残量表示が「残量なし」の状態で使用をつけると、「LOW BATTERY」が表示され、残量警告音「ピーピー」が2秒間鳴りつづけたあと、電源が自動的に切れます。



★固定されるときは、市販のタッピングネジ (2本 : 3.5×30mm) をご用意ください。

バッテリーパックの特性と寿命について

- ◎バッテリーパックは、消耗品です。充電できる回数は、300回~500回が目安です。
- ◎使用せずに保管しているだけでも、劣化が進行します。
- ◎劣化がはじまると、充電が完了しても運用時間が短くなります。
- ◎充電が完了しても、運用時間が極端に短くなったときは寿命です。無線機の性能を十分活用するため、長くて5年以内の交換をおすすめします。

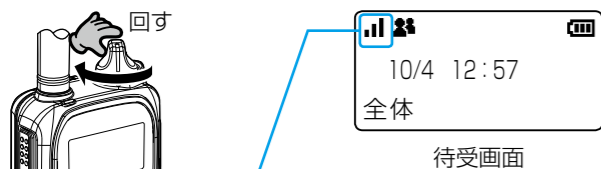
※本書中の画面や説明は、設定によって、お使いになるものと多少異なる場合があります。

8. 電源を入れる／音量を調整する

電源を入れる

[電源/音量]ツマミを時計方向に、12時の位置まで回します。

- 「カチッ」と音がして、ピー音が「ピー」と鳴ります。
- ※防塵/防水対応により、簡単に回らない構造になっています。



電波の強度を3段階(目安)で表示します。
 ※サービスエリア外、または電波の届かない場所の場合は、 (圏外)点滅表示します。

音量を調整する

[電源/音量]ツマミを回すと、音量が調整できます。
 相手の音声が聞きやすい音量レベルに調整してください。
 調整できる範囲は、「0～32」です。



※音量が最小のときは、操作音(ピープ音)や受信した音声が聞こえません。

9. 操作キーについて

★お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。

[アドレス帳]キー*

アドレス帳を利用して、送信するときに操作します。
 キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ*)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。



アドレス帳：個別

[履歴]キー*

短押し
 キーを押すごとに、履歴*が切り替わります。
 ※表示される履歴は、送信、受信、メッセージ送信*、メッセージ受信、電話発信*、電話着信*、録音*です。

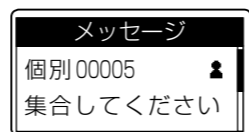
長押し
 迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出し*するときに操作します。「緊急」と表示されるまで、キーを長く押しします。

[▲]/[▼]キー

アドレス帳や履歴画面内のカーソルを移動するために使用します。

[FUNC]キー*

送信するメッセージやプレゼンス、所属するトークグループを選択*するときに操作します。

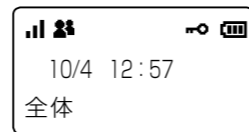


メッセージ選択画面

[CLR/LOCK]キー

短押し
 メッセージや履歴などの選択画面から、待受画面に戻ります。

長押し
 ロック機能をON/OFFします。
 ※[PTT](送信)スイッチと[電源/音量]ツマミは、ロック中でも使用できます。

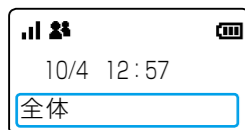


キーロック時の待受画面

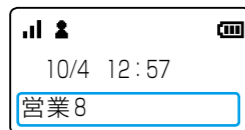
10. 呼出種別(呼出先)について

「アドレス帳からの呼出」が有効に設定されている場合は、本製品の[アドレス帳]キーを押して、呼出種別(呼出先)を切り替えられます。

※無効になっている場合は、[PTT](送信)スイッチを押すと、待受画面(下部)に表示された特定の呼出種別(呼出先)を呼び出します。



全体呼び出し選択時



個別呼び出し選択時

呼び出しモード表示

- : 全体*/グループ呼び出し*
- : トークグループ呼び出し**
- : 個別呼び出し*
- : 電話(発信/着信)**

★お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。
 ※呼び出しやメッセージを受信したときは、アイコンが点滅します。

11. 交信のしかた

1

[PTT](送信)スイッチを押しながら、マイクロホンに向かって通話相手に呼びかけます。

- [PTT](送信)スイッチを押しているあいだは、[送信/受信]ランプが赤色に点灯します。



2

相手局が送信すると、受信した音声が聞こえます。

- 受信中は、[送信/受信]ランプが緑色に点灯します。
- ※アイコン点滅時は、新規受信(着信)を示します。(下図参照)
- ※待ち受け状態のときは、[送信/受信]ランプが消灯しています。



3

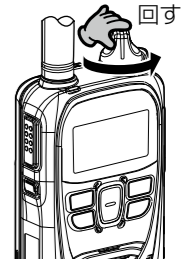
相手が送信しているときでも、[PTT](送信)スイッチを押しながら、電話のように同時通話できます。

- 送受信状態(複信通信時)のときは、[送信/受信]ランプが橙色に点灯します。



電源を切るときは

[電源/音量]ツマミを反時計方向に「カチッ」と鳴るまで回します。



交互通話(単信通話)の場合

お買い上げの販売店で単信通信が設定されている場合は、送信と受信を交互に切り替えて通話します。
 ※相手の通話が終了してから、送信してください。
 ※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。

本製品の別売品や各機能の詳細について

別売品や各機能などについては、弊社ホームページに掲載のIP500H取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。
 ※本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。設定について詳しくは、お買い上げの販売店におたずねください。
 ※取扱説明書(PDFファイル)をご覧いただくには、Adobe® Acrobat® Reader®が必要です。お持ちでない場合は、Adobeホームページからソフトウェアをダウンロードしてください。
 ※下記URL、また右図のQRコードから弊社ホームページにアクセスして、[フリーワード検索]欄に「IP500H」を入力すると、取扱説明書(PDFファイル)を検索できます。



アイコム株式会社 取扱説明書 ダウンロード <http://www.icom.co.jp/support/download/manual/>

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。Adobe、Acrobat、Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

高品質がテーマです。

A-7230H-2J-① Printed in Japan © 2015-2017 Icom Inc.